

緑ヶ丘団地とは

厚木市が生まれた1955年、産業発展のための工場誘致条例ができ、それとセットになる住宅団地の建設計画が持ち上がりました。その計画の立地として選ばれたのが「尼寺原団地」、現在の「緑ヶ丘団地」です。高台にあり、空気の良い静かな住宅地ということで、横浜近辺から多くの世帯が移ってこられたようです。できたばかりのゴルフ場のバンカーが子どもたちの格好の遊び場となったり、のどかな時代でもありました。

それから60年。団地の建物は、変わりゆくまちの風景を見守っています。この環境やコミュニティを未来にどうつないでいけるか。団地やまちの暮らしをどう楽しくできるか。これからの世代に託されたテーマだと考えています。



▲facebookページ「ミドラボ」



▲神奈川県住宅供給会社ホームページ

facebookページや神奈川県住宅供給会社ホームページでも情報発信中!

緑ヶ丘団地までのアクセス



【公共交通機関をご利用の方】

- 本厚駅から
- ・「本厚木駅」より「厚木25:緑ヶ丘循環」へ乗車、「緑ヶ丘」降車徒歩1分
 - ・「本厚木駅」より「厚木26:東京工芸大行き」へ乗車、「黄金原」降車徒歩10分
- 東京工芸大学から
- ・「東京工芸大学」より「厚木26:厚木バスセンター行き」へ乗車、「黄金原」降車徒歩10分

ミドラボオープンハウスプロジェクト2018

- 【主催】 東京工芸大学×神奈川県住宅供給公社
 【共催】 NPO法人 結の樹よってけし
 【協力】 一般社団法人 コミュニティカフェ荻野
 緑ヶ丘4丁目自治会



お問い合わせ: 神奈川県住宅供給公社 賃貸事業部団地再生課
 担当: 村田(電話 045-651-1957/平日8:30-17:30)



「緑ヶ丘でやってみたい」が集まりました!

ミドラボ オープンハウス 2018

11月 23日 24日
 金・祝 土

時間: 10-16時
 会場: 緑ヶ丘団地 (厚木市緑ヶ丘4-2)

「ミドラボ」とは、今年始動した東京工芸大学と神奈川県住宅供給公社による緑ヶ丘団地の活性化プロジェクトです。そのオープニングイベントとして、「ミドラボ オープンハウス2018」を開催します。いろいろな人や物事が出会う2日間です。ぜひ遊びにいらしてください!



団地の住戸内が展示室!

①団地のリデザイン作品展

緑ヶ丘団地でこんな暮らしはできないか。新しい住まい方の提案から団地の空間構成の再編まで、建築学生のアイディアが集まりました。

②環境測定住戸の公開

通風状況や音環境など、住戸の快適性に関する測定・調査を行なっている様子を公開しています。



屋外プレイロットがマルシェに!

③緑ヶ丘マルシェ 11月23日(金) 10-16時、11月24日(土) 10-13時

神奈川県雄一の村、清川村で地域の資源を使った暮らしのリデザインを手がけるNPO法人「結の樹よってけし」による特設マルシェを開催します。



集会場でイベント開催!

④講演「団地活性化の先進事例に学ぶ」 11月24日(土) 13時30分-15時

千葉工業大学の田島則之先生をお招きしての講演です。学生・地域が連携した「袖ヶ浦団地活性化プロジェクト」についてご紹介いただきます。

⑤ミニパーティ 11月24日(土) 15-16時

講演終了後、同会場で、「結の樹よってけし」プレゼンツのミニパーティを開催します。

ミドリを身に付けて来場いただいた方には、集会場でキャンディ(先着順100名)をプレゼント!





インフォメーションコーナーは集会場です。以下の内容も展示しています。

- ・プロジェクト紹介パネル
- ・緑ヶ丘の暮らしの写真展
- ・ミドラボライブラリー

キャンディーのプレゼントもこちら！

①団地のデザイン作品展

@4206号棟 4階 647・648号室, 4階 627・628号室 (入場無料)



高度経済成長期以降の日本の発展を支えてきた集合住宅団地が、建物や住民の高齢化、空室の増加などの問題に悩まされています。一方、時間のなかで蓄積されたコミュニティ、ゆったりとしたオープンスペースなど、新しい住宅地では得難い環境もそこにはあります。そうした団地を、建築やデザインの力で、これからの時代の楽しく魅力ある暮らしの場に仕立て直すことはできないか。本展示は、緑ヶ丘団地を例に、このテーマに取り組んだ学生たち(建築学科3年生)の作品です。新しい住まい方の提案から団地の空間構成の再編まで、様々なアイデアが集まりました。



②環境測定住戸の公開

@4502号棟 3階 226号室, 4階 228号 (入場無料)



通風状況や音環境など、住戸の快適性に関する測定・調査を行なっている様子を公開しています。「環境ってどうやって測るの?」「どんな装置を使っているの?」普段なかなか見ることのない研究の現場をのぞいてみませんか?

③緑ヶ丘マルシェ

23日(金) 10-16時, 24日(土) 10-13時
@プレイロット (子供の遊び場)



神奈川県唯一の村、清川村で地域の資源を使った暮らしのデザインを手がける「結の樹よってけし」による特設マルシェです。使われなくなった団地のプレイロットが、にぎわいの場に変身します。福祉のまちづくりを展開する愛原住宅からは、組み合わせて遊べるウッドデッキ「CoCoパズル」がやってきます。地域を楽しくするご近所のいろいろなグループが緑ヶ丘に集まります。



④講演 「団地活性化の先進事例に学ぶ」

11月24日(土) 13時30分-15時

千葉工業大学 創造工学部 建築学科 助教 田島則之先生
@集会場(入場無料/申込不要)



大学による団地活性化の取り組みが、様々な地域で行われています。学生たちの若い力は、団地の風景を一変させる力を持っているからです。一方、外部からの働きかけだけでは、一過性のイベントで終わってしまう難しさもあります。そこでは、地域との協働や、まわりにも広がるネットワークづくりが欠かせないものになるでしょう。そのあたりのポイントや難しさについて、千葉県の袖ヶ浦団地で長く活性化プロジェクトに取り組まれている田島先生にお話しいただけます。



⑤ミニパーティ

11月24日(土) 15-16時

@集会場(300円程度の会費制/申込不要)



講演終了後、同会場で、「結の樹よってけし」プレゼントのミニパーティを開催します(300円程度の会費制)。テーマは「ジャムのデザイン!」。休閑地でとれた果物が、地域の手でおいしいジャムに大変身。アップル+ジンジャー、キウイ+ハーブなど、新しい味に生まれ変わったジャムとマフィンをお楽しみいただけます。こだわりのコーヒーは、Tobioギャラリー(鳶尾団地)を拠点に地域活動を展開する「コミュニティカフェ荻野」によるものです。